

読み聞かせ（学生による）

□所要時間	10 分～20 分程度
□主なスキル	音声のアウトプット（スピーキング）・インプット（リスニング）
□形式	例）ペア、4 人のグループ
□概要とねらい	
多読図書 CD、教員の読み聞かせと一緒の読書では、物語の世界に入り込むような楽しみがありますが、ここでは学生自らが読み聞かせする活動を紹介します。学生が読み聞かせをする場合は、多読図書 CD やインターネット多読図書の音声機能⁽¹⁾を利用して、何回か練習してから級友に読み聞かせをします。 （注 1）筆者のオンライン授業実践では、以下のサービスを利用しました。 ・オンライン会議アプリ Zoom[®] https://zoom.us/jp-jp/meetings.html ・有料英語多読図書サービス「コスモピア e-station 英語多読の森[®]」 https://e-st.cosmopier.com/er/ 図書ファイルにナレーション機能、シャドウイング機能等があり、速度も変更可能。 【読み手の目標】 英語らしい聞き取りやすい発音で語るだけでなく、読んだ本の内容を最大限に伝える読み方の工夫をすること、聞き手に伝わるように読むことができるようになる。 【聞き手の目標】 聞いて理解できること（頭の中で場面の映像が浮かぶように）、さらに読み手に感想や語りのフィードバックができるようになる。	
□事前準備（必要な教材、器具など）	
・ CD 付き多読図書（事前練習用と読み聞かせ時に使用） ・ PC 等の端末（オンライン授業の場合、学生は各自 1 台）	
□手順	
【通常授業の場合】 1. 授業参加前に、読み聞かせ用にお気に入りの CD 付き多読図書 1 冊を選び、CD の音声に合わせて練習するよう伝える。選本に際し、ページ数が少なく、YL が低い平易なもの（読み聞かせ 3～5 分目安）、イラストが魅力的なものを選ぶように指示する。	

さらに、上記の「読み手の目標」も伝え、個々の発音だけではなく、内容をよく理解すること、内容を効果的に伝えるために「抑揚、強弱、声の大小、声色、ポーズ等」の非言語情報が重要性であることを、例を示しながら説明する。

2. 授業では、ペアまたは小グループで順番に読み聞かせを行う。最初、級友に本の表紙を見せ、タイトルを読み上げてから行う。本のイラストを見せながら読む。読み聞かせが終わったら、単語等の言語情報を含め、聞き手から自由に質問、感想を伝え、最後に語りのフィードバックをする。
3. 読み手、聞き手を交代する。
4. 読み手としての振り返り（自己評価）、聞き手として他の読み手の評価をする。

【オンライン授業の場合】

1. 授業参加前に、読み聞かせ用にインターネットの電子書籍サービスからお気に入りの多読図書 1 冊を選び、ナレーションの音声に合わせて練習するよう伝える。選本に際し、ページ数が少なく、YL が低い平易なもの(読み聞かせ 3~5 分目安)、イラストが魅力的なものを選ぶように指示する。さらに、上記の「読み手の目標」も伝え、個々の発音だけではなく、内容をよく理解すること、効果的に伝えるために「抑揚、強弱、声の大小、声色、ポーズ等」の非言語情報の重要性を、実際に例を示しながら説明する。
2. 授業では、ペアまたは小グループで順番に読み聞かせを行う。始める前に各自の端末に、読み聞かせする図書のファイルを開いて準備しておくよう指示をする。
3. 読み手は、画面共有機能を使い、図書ファイルのページを見せながら読み聞かせを行う。読み聞かせが終わったら、聞き手から自由に質問、感想を伝え、最後に語りのフィードバックをする。
4. 読み手、聞き手を交代する。
5. 読み手としての振り返り（自己評価）、聞き手として他の読み手の評価をする。

【学生の反応】

オンライン授業での感想

- ・ 今まではリーディングと聞き読みしかしたことがなかったので、今回の体験は新鮮なものに感じられた。短い文章で、あまり長すぎない話なら文を見ずに内容を聞き取れることもできた。
- ・ 読書以外の機能を使用したことはなかったので、良い体験ができました。
- ・ 音声を聞くことがなかったが、読みながら音を聞くのは理解力が上がるような気がしたので、これから語数や YL が上がる本を読む際に読みながら音を聞くとレベルアップにつながるのではないかと思った。

- ・ 聞きやすいように話すスピードを考えてゆっくり話すようにしました。相手も読んだことのある本だったようで、発表が終わった後に、その話に関する話ができて良かったです。
- ・ しっかり発表できました。みんなのお気に入りの本がいろいろなジャンルだったので聞いていて本当に楽しかったです。また、お気に入りの本の共通点を探したりするのも楽しかったです。

【応用・解説】

多読の総語数が積み重なり、高めの YL の本を読んでいる学生にも、上述のとおり、YL 低めで語数の少ない本を選ぶことを推奨します。その理由は、所要時間に制限があることだけではなく、日本語に訳すことなく瞬時に直感的に理解できる文章を聞くことで「ことばの身体化」を促すことができるからです。

(文責：草薙優加)